

会議月日 7月19日(水) 矢吹町学校規模適正化検討委員会(幼稚園専門部会)
 協議事項 (3) 幼児教育にとって望ましい再配置に関する幼稚園数と実施時期について
 内 容 令和5年度、検討委員会が「矢吹町立幼稚園の適正規模・適正配置の基本方針」に基づき、町立幼稚園の具体的な再配置に関する検討を進めていくに当たり、各委員から幼稚園の再配置に対する考えを改めて確認しました。

(欠席者 三神幼稚園保護者代表：遠藤寛治、矢吹小学校保護者代表：本宮正人、各小学校長)

	－各委員からの幼稚園再配置にかかる意見の要旨－
委員	各地域に幼稚園があってほしいと思いつつも、子どもの数が減ってくると統合も仕方ないと思われる。矢吹幼稚園に入園する園児が5人程度になるといった噂も耳に入っており、このような状況では統合はやむを得ないと考えている。
委員	現在住んでいる地域の幼稚園では園児数が一定程度確保できているが、統合するのは致し方ないと考えており、むしろ将来を見据えてポジティブに考えている。現在中学校も1校だけという状況のため、幼稚園や小学校が統合することは前向きに考えている。
委員	統合は避けて通れないと思っている。園児数が減少していけば、遊びや学びが少人数でしか行えなくなり、子どものふれあいの機会が少なくなる。一定程度人数がいたほうが園児にとって望ましいのではないか。
委員	結論としては統合に賛成である。自分の子どもの頃を振り返ると、子どもの頃の友達は大事と思われる。園児数が一人だけの園をテレビで見たことがあるが、子どもとしては寂しいと感じているようである。家庭環境は様々であるため難しいところもあるが、子ども達の立場に立てば、統合を前向きに考えることも重要である。
委員	結論としては統合に賛成である。アンケート結果を見ると、親の視点での意見が多い。自己中心的な意見に囚われていれば検討が進められないため、委員会では共通の方向を向いて検討を進めたいと考えている。また、現在私立の園が各地区に存在しない状況であるため、例えば、聖和学園が中畑地区・三神地区に来てもらえれば状況も変わるのではないか。そういった点も踏まえて検討を進められればと考えている。
委員	アンケートの結果を見ると、三神地区の保護者は統合に関して相当慎重であることが分かる。三神地区に住んでいる立場としては、地域コミュニティに愛着を感じるし、アンケートにおける三神地区の保護者の気持ちもよく理解できる。しかし、子ども達の立場に立った場合には、今後1学年で園児数が3～5人となることが子どもにとって適切かは疑問である。学年によっても変わるかとは思いますが、やはり1学級あたりの園児数が20人程度いるのが理想である。ただし、自分が子どもの頃は1学級あたり園児数が30人以上となっていたが、そのように園児数が多すぎる

	<p>状況よりはよいと思われる。したがって、これまでの検討内容に賛同し、統合すべきと考えている。</p>
委員	<p>統合しなければならない状況となっており、統合は仕方ないと考えている。ただし、検討を進めるにあたっては保護者の意見をもっと吸い上げ、説明を行うなど、保護者の不安を解消するようにしてほしい。</p>
委員	<p>子育て世帯ではない自分の意見より子育て世帯の意見を尊重したいことから、賛成・反対とは言えない。ただし、2点意見を上げさせていただきたい。1点目は、統合した場合、地区によって通園時間すなわち送迎の負担がどの程度変わるかについては考慮しなければならない。2点目は、現在中学校が1校、小学校は4校となっているが、そこで幼稚園が1園に統合されると、小学校に上がる段階で交遊関係が一旦失われることとなり望ましくないと考える。学区割の見直しや小学校の統合も考慮すべきではないか。</p>
委員	<p>既存幼稚園の建て替えは財政的に厳しいと思われる。また、財政支出を抑制できれば、住民の税負担も抑えられると考える。町外に人口が流出している理由の一つに「税金が高い」という理由があり、住民の税負担を抑えなければならないと考えている。</p> <p>また、防犯面から統合にかかる検討も必要であると考えている。他県でのことになるが、幼稚園や小学校に不審者が侵入し子どもが傷つけられる事件が起きていることもあり、先日実施の幼稚園の視察の際には、防犯面に着目して視察を行った。矢吹町は地理的に白河警察署から遠いことから、治安面で懸念しているところがある。そこで、幼稚園が統合すれば園の経営効率が上がり、そうして生まれたお金で警備員を配備すれば治安向上につながるのではないかと考えられる。今後、統合により教育施設の集約を進めることができれば、警察もその周辺を重点的にパトロールしやすくなり、安全の確保につながっていくと考えている。ただし、現在の幼稚園による地域のつながりが失われるのは心苦しいと感じている。</p>
委員	<p>矢吹中学校が今のように1校に統合するに至った大きな理由の一つは、統合前の各地区にあった中学校が老朽化しているものの、各々建て替えの予算がないため1校にするという大人の都合で統合に至った経緯がある。現在、小学校も老朽化が進んでおり、また各地区に幼稚園を建て替えることは財政的に難しいと考えられる。統合するのであればどのように進めるかをよく検討して進めなければ、地域からの反感が強いと思われる。</p> <p>また、三神地区は区域が広く、矢吹から三神まで7km程度の距離となっているため、通園が大変になるとと思われる。送迎等についても十分検討</p>

	<p>することを望む。</p>
委員	<p>皆様の意見と同じく、子ども達からみてどのような教育体制とすべきかという目線で検討することが最も重要と考える。ただし、検討にあたっては保護者の目線・地域住民の目線など多角的な視点からとらえていく必要がある。</p> <p>人口減少は町だけの問題ではなく、どの地方自治体でも同じような問題を抱えている。類似の状況にある自治体も参考にしつつ、子ども達・保護者・地域住民の声を踏まえ、慎重に進めていくことが重要となる。今後人口減少が進む状況を踏まえ、統合を見据えてどのように進めていくかを皆が納得できるように検討することが、この検討委員会の意義だと思っている。</p>
副会長	<p>子どものためを考えれば、統合すべきと考える。幼稚園を視察した感想としては、現在の幼稚園を存続させることができればベストである。幼稚園を統合するのであれば小学校と一緒に統合できればいいと思っている。</p> <p>また、3～5歳児は学年ごとに1学級くらいが望ましい園の規模であり、3～5歳は、年齢を超えて交流して遊べるような環境が必要と考えている。よって、統合によって園児数が多くなりすぎるのも問題であり、統合のタイミングをどのように考えるかは難しい。</p> <p>住民アンケートの設問5の選択肢で「子どもの主体的対話的で深い学びが実践されるような、特色ある教育内容」とあるが、これは国のスタンダードな考え方であり、「特色のある教育」とは言えないと考える。</p> <p>また、住民アンケートや住民説明会において保護者から英語やピアノといった教育を充実させてほしいというご意見が上がっているが、これは各家庭で実施する教育である。幼稚園や保育園では、小学校の予備校のように何かができるようになる教育を押し付けるのではなく、主体的に自分を発揮し新しい環境を作り出すといった幼児期に必要な育ちを与えられるような環境を整えてあげることが重要である。やらせる保育ではなく、学ぶ保育を重視したい。</p>
会長	<p>委員会の全体の意見としては統合に賛成ということで認識した。</p> <p>今後、懸念事項を踏まえたうえで検討を進めたい。</p>